

2020年11月2日

令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰を受賞

ニチコン株式会社
代表取締役会長 武田 一平
京都市中京区烏丸通御池上る
(TEL. 075-231-8461)
問合せ先：広報・IR室
広報担当部長 山下 文男

ニチコン株式会社（代表取締役会長：武田 一平）は、「革新的技術開発等による温室効果ガス排出削減と災害対策における社会貢献活動」が評価され、令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰を受賞しました。

気候変動アクション環境大臣表彰（今年度より改称）は、環境省が平成10年度から地球温暖化対策を推進するための一環として、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人又は団体に対し、その功績をたたえるため行われています。今年度の受賞者フォーラムは11月21日（土）にオンラインにて執り行われる予定です。

受賞活動の名称

革新的技術開発等による温室効果ガス排出削減と災害対策における社会貢献活動

活動内容

- 蓄電システムや次世代自動車用の急速充電器等、リーディングカンパニーとして自立型エネルギーシステムの構築に寄与



家庭用蓄電システム、急速充電器、V2Hシステム

- 京都府との災害協定締結により非常用電源として電気自動車及び給電装置を貸与することで、災害時の応急措置や災害復旧の体制を構築



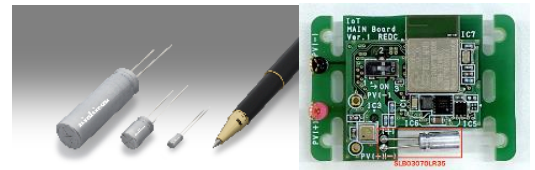
可搬型給電器パワー・ムーバー

- 2019年台風15号等、蓄電システム等を活用した災害対策支援に貢献



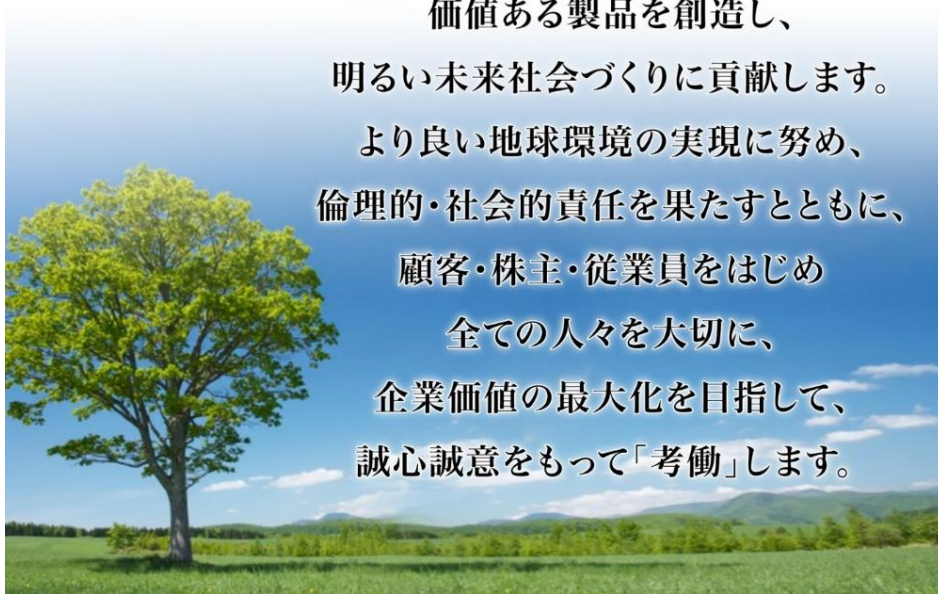
ポータブル蓄電システム

- ・他社と共同で開発した自立型 IoT 環境センサーシステムのスマート農業やスマートホームなど、様々な分野での活用が期待される



小形リチウムイオン二次電池、自立型 IoT 環境センサー

当社経営理念

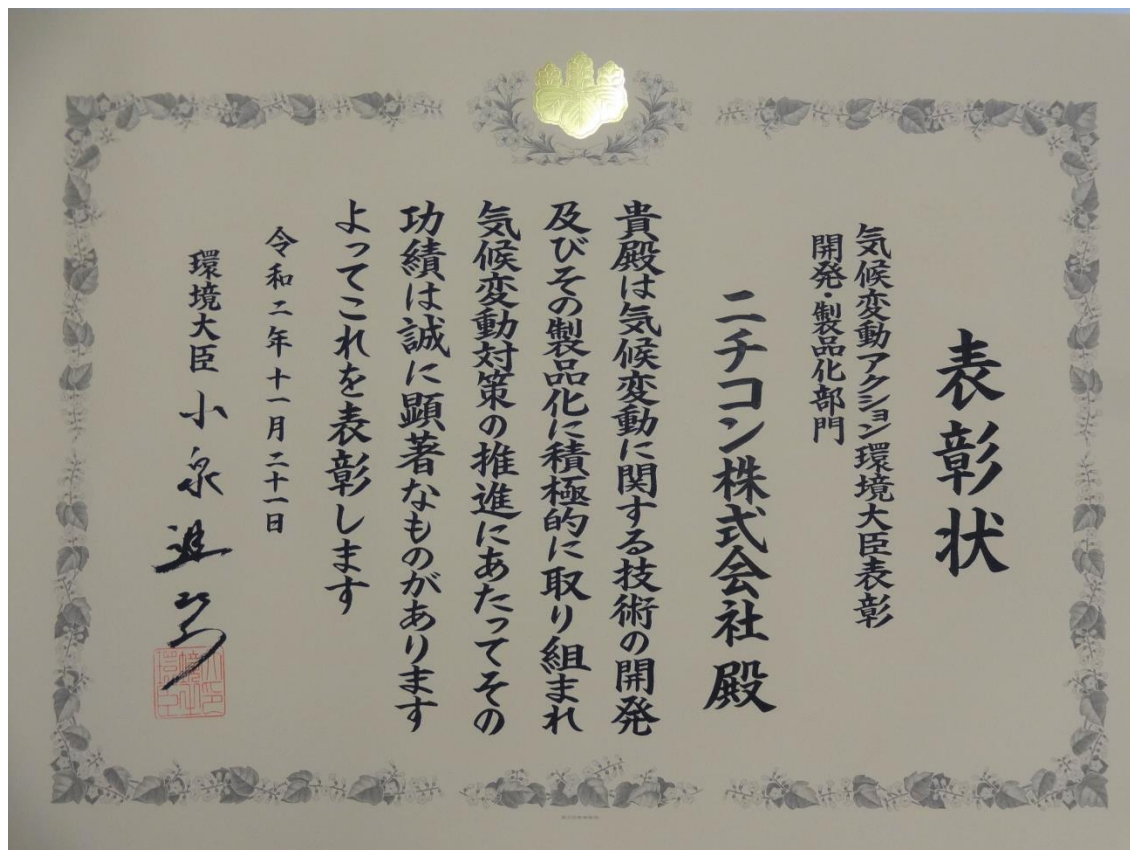


当社は、「より良い地球環境の実現に努め、価値ある製品を創造し、明るい未来社会づくりに貢献します。」を経営理念に掲げており、深刻な社会問題として議論される地球温暖化の解決に向け、エネルギーの安定供給と環境保護の両立を目指し、経営トップ直轄の組織として2010年3月に NECST (Nichicon Energy Control System Technology) プロジェクトを立ち上げ、2013年に事業本部化し、強力に推進しています。

その取り組みとして、業界を牽引する家庭用蓄電システム、世界初の V2H システム、EV・PHV 用急速充電器や EV・HV 用フィルムコンデンサ等において革新的な技術開発により業界に先駆けて市場投入し、再生可能エネルギーの活用および EV 普及の促進による温室効果ガスの排出削減に寄与しています。

また、気候変動に起因する昨今の自然災害による大規模停電では EV から電気を取り出し、給電する可搬型給電器パワー・ムーバーや設置工事不要のポータブル蓄電システムが非常用電源として災害対策支援に貢献しました。あわせて、IoT やウェアラブル機器に最適な急速充電電、長寿命、低温特性、安全性を高次元で実現した小形リチウムイオン二次電池を新規事業として立ち上げました。自立型 IoT 環境センサーを共同開発し、スマート農業やスマートホームなど、様々な分野での活用が期待されています。

今後も社会の抱える課題を解決し、明るい未来社会づくりに貢献してまいります。



ニチコン株式会社 概要

所在地：京都市中京区烏丸通御池上る

代表者：代表取締役会長 武田 一平

設立年月日：1950年8月1日

資本金：14,286百万円(2020年3月31日現在)

従業員数：5,409名(2020年3月31日現在 連結)

事業内容：アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、
正特性サーミスタ“ポジアール®”、小形リチウムイオン二次電池、家庭用蓄電システム、V2H システム、EV・PHV 用急速充電器、公共・産業用蓄電システム、スイッチング電源、機能モジュール、医療用加速器電源、学術研究用加速器電源、停電・瞬低補償装置など

売上高：119,675百万円(2020年3月期 連結)

以上